

基本構想のはじめに

- ・本館再整備構想への経緯
- ・基本構想の3つの議論の方針

- 0-1. H25行動プログラムからH28図書館基本構想への状況変化の経緯
- H25夏、市財政の展望をふまえた「行動アドバイス案」の分館縮減案に大きな市民の反響と行動。
 - H25冬、都市計画税の用途を緩和する法改正により、市財政計画の前提と展望に状況変化。
 - H27冬、駅前PFI本館整備案の進捗困難の状況に、有効条件の適地の取得可能性が生まれた。
 - H28春、都心部の、中央公園、中心施設、図書館中央館を連携する再整備の検討が始まった。

- 0-2. 確認された基本構想策定委員会の進め方
- H23「基本方針・運営方針」とH28「読書活動振興計画」を「本館再整備基本構想の基盤」として策定委員会は議論する。
 - H22図書館協議会「中央図書館整備のあり方答申」を「本館再整備基本構想の骨格」として策定委員会は議論する。
 - 「市政世論調査や各種アート」「行動施設の見直し方針と行動アドバイス更新案へのアコギ」「グループヒアリング」「説明会意見」など、これまでの図書館への市民意見をふまえ、素案への意見も積み重ねて、基本構想素案を策定委員会は議論する。

第一章 多摩市民の図書館のいま	第二章 多摩市民のめざす図書館	第三章 多摩市民を支える中央図書館	第四章 中央図書館づくりの進め方	おわりに
1-1. 多摩市のいまと図書館政策 <ul style="list-style-type: none"> ・都市環境と15万人コミュニティの魅力 ・第五次総合計画の時代に ・図書館マネジメントへの指摘 ・総合計画に示されてきた図書館政策 <p>※H28. 公共施設見直し方針と行動プログラム 多摩市政の状況分析を梗概化して、配置する。</p> <p>※多摩市政の基本理念と図書館の使命 ○多摩市自治条例より 第4条基本原則、第17条情報共有 ○第五次多摩市総合計画 基本構想より 「みんながえがお いのちにぎわうまち 多摩」 3つの「まちづくりの基本理念」</p>	2-1. 「知の地域づくり」ための図書館 (基本方針と5つの運営方針) <ul style="list-style-type: none"> ・知の地域づくりのために ・基本方針：市民の「知る」を支援する <p>※ 5つの運営方針：①だれもが使える図書館 ②子どもの読書環境の整備 ③市民や地域に役立つ図書館 ④しらべるを支え、つながる図書館 ⑤弾力的な管理・運営</p> <p>※H23. 「多摩市立図書館の基本方針・運営方針について」を、今後の図書館運営にあたっての哲理として配置する。 策定委員会の添加的な意見があれば、特記加筆する。</p>	3-1. 中央図書館整備の「使命」 <p>そしてあらたに</p> <p>(1) 多摩市の図書館システムの中核として、7つの地域館と結び合い、その活動を支える。</p> <p>(2) パルテノン多摩との連携も図りつつ、多摩市の文化・情報・教養活動の基地となる。</p> <p>(3) 学校との連携も含め生涯学習の拠点となり、市民のコミュニケーションの向上に役立つ。</p> <p>※H22. 図書館協議会答申P3の念頭におくべき3つの柱</p> <p>(4) 都市の広場としての図書館、</p>	4-1. 図書館計画に欠かせない4つの視点 <ul style="list-style-type: none"> ・資料、人、施設の計画に専門性の総合化。 ・多様な活動とつなぐ、広場性の創出。 ・多摩市の培った歴史性地域性の反映。 ・多様な意見を受け入れる市民性表出。 <p>※市民グループヒアリングからは、計画のプロセスでの論理的計画的合理的な説明・情報開示が求められた。</p>	別冊 資料編 基本構想策定の経緯と記録 <p>(1) 策定委員会要点録</p>
1-2. 多摩市の図書館サービスの現状 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩市の図書館システムの現状 (全市全域サービスシステム図) ・市民の図書館利用の状況 ・資料群と管理システム ・図書館員の体制 ・多摩市の学校図書館の現状 <p>※H28. 多摩市読書活動振興計画の分析梗概や 図書館要覧の統計、今回調査作成の統計の 分析考察を梗概化して、配置する。</p>	2-2. 図書館システムとしての 多摩市立図書館 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館システムの総体を多摩市立図書館とする。 ・多摩市の図書館システムの将来像(全市全域図) ・図書館システムの充実成長や、政策の持続性を図る。 <p>資料・職員・施設の体制を点検し、改革を継続する。</p> <p>※市民グループヒアリングの圧倒的な意見趣旨。 ※地域図書館を支える中央図書館のあり方への希望。 ※本館施設の再整備への期待はあるが、あわせて地域図書館の充実と再整備の重要性も市民は指摘している。 ※図書館システムとしての学校図書館充実策の方向性。 ※H22. 図書館協議会答申などの指摘。</p>	3-2. 中心地区につながる 開かれた中央図書館 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩市を中心・多摩センター地区の環境や活動に連携して、多摩中央公園ともつながり、街に開かれた中央図書館をつくる。 ・多摩N.T.再生や都心部魅力化求心力に寄与する <p>※H22. 図書館協議会答申P3とP4にある、敷地選定にあたり都心部環境との関係づけの記載を、策定委員会協議に加えて基礎資料として、配置する。</p>	4-2. 資料世界構築と開架の配架表現 <ul style="list-style-type: none"> ・どう編成し、成長させる仕組みをつくるか。 ・計画的な全域旅游の施設群への分配方針も必要。 ・中央館の部門構成、主題混配の方針も必要。 ・課題解決型配架構成、N.Y.再生支援郷土資料。 ・複数の研究委員会の立ち上げが必要に。 <p>※求められている現有のマンパワーの再編と経常経費の再編が、人件費の圧縮と資料費の増大に寄与できないだろうかという方向の可能性が求められている。 ※暮らし、まちづくり、に役立つ資料構築と配架表現を。</p>	<p>(2) 協議検討資料 関係ヒアリング記録</p>
1-3. 多摩市の図書館サービスの課題 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の本館の課題 ・図書館の課題 ・市民の意見 (多摩市の図書館の課題チャート) <p>※H28. 多摩市読書活動振興計画の分析梗概や H22. 図書館協議会答申P3の記載、今回現調からの分析考察を梗概化して、配置する。 ※課題群の一覧は、マトリックスチャート 「多摩市の図書館の課題チャート」 の書式で整理。</p>	2-3. 多摩N.T.再生まちづくりに 役立つ図書館 <ul style="list-style-type: none"> ・ニュータウン再生まちづくりに役立つ ・中心部の魅力や賑わい、多様性や奥行きとなる ・暮らしやすい多摩市への若い世代の移住を誘う <p>※団地の建て替えに始まるN.T.再生や、中心部再整備に、都市と暮らしの魅力要素として、若い世帯の移入を誘う。 ※多様な人が集まり交流する広場性、市中心街地の求心力、学校や社会施設をつなぎ支援する焦点、などの重要な都市機能のひとつとしての図書館への期待。</p>	3-3. 基本的図書館サービスと あたらしいサービス <ul style="list-style-type: none"> ・専門的で充実した図書館サービス <p>①資料世界の構造化と表現②充実したレファレンス ③課題解決型図書館④リメイクとICT⑤市外図書館連携</p> <p>(2) 全域奉仕・分館支援・アウトリーチサービス ①分館と学校へのネットワーク②宅配システム③地域団体/施設</p> <p>(3) 全市図書館システムのセンター機能 ①収書構築と保存②ICT導入③協働受入れ④学校司書拠点</p> <p>(4) 市民のひろば、多様な市民活動を支えるサービスと場の提供 ①アーティスト対応②催事企画③展示/喫茶④自由な広場性</p> <p>※H22. 図書館協議会答申P4～8にある、これからの中図書館サービスの項目記載を、策定委員会協議のフレームに再編して、協議からの新たな項目や指摘を加えて整理して、配置する。</p> <p>(5) 時代が求める新しい図書館サービス</p>	4-3. 大切な図書館員の専門性 と組織づくり <ul style="list-style-type: none"> ・どう編成し、成長させる仕組みをつくるか。 ・戦略的な全域旅游への配置やローテーション方針が必要。 ・中央館の部門構成、職員配置の方針も必要。 ・今後の政策研究のテーマを整理する。 <p>※現有のマンパワーの再編とプラッシュアップへの期待が市民から表明されている。行政からは同様に現有経常経費を過度に膨張させないマネジメントの再編が求められている。</p> <p>※H22. 図書館協議会答申P8「職員のあるべき姿」を協議</p>	<p>(3) 素案広報公聴の記録</p>
1-4. 多摩市の図書館政策 研究の経緯 <ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館の必要性と整備計画 ・図書館協議会からの答申 ・市民意見聴取、市民の参画/研究 <p>※H28. 多摩市読書活動振興計画P2～4. 梗概や H22. 図書館協議会答申など、今回策定委員会 議論の基礎資料を梗概化して、配置する。</p>	2-4. あたらしい多摩市立図書館への提言 (提言チャート) <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の資料・職員・施設や活動の充実と成長を図るために、市民利用者との協力や協働をふまえて運営や企画を進める。 ・基本構想策定委員会からの提言意見集 <p>※現状でも図書館でのお話し会や、学校での出前サービスに市民グループの協力が行われているが、さらに今後、こうした市民活動コーディネートや、施設整備や運営にも、情報開示と市民参画への希望や意欲や現された。</p>	3-4. 市民協働で 「もの」と「こと」のデザインを <ul style="list-style-type: none"> ・どんな資料世界をつくるか ・どんな施設環境をつくるか ・どんな図書館員がサービスするか ・市民との協働は <p>※H22. 図書館協議会答申などの指摘。</p> <p>※中央図書館整備のプロセスや整備後の運営についても、市民グループ、市民利用者からは、協働や市民参画への希望や意欲や現された。折々でいいな「情報開示」と「行政の文化化」が市民との協働の基盤となるだろう。</p>	4-4. 機能的/快適/魅力的/経済的な施設づくり <ul style="list-style-type: none"> ・開架各部門の資料世界表現や収書の成長や、少人数のデスク配置や運営を担保させて、機能的で経済的な施設の、計画設計建設の事業手法を研究する。 ・更に、市民的合意形成のプロセスを重視する。 <p>※H22. 図書館協議会答申P9「おわりに」の指摘を協議</p>	基本構想 概要版